

令和2年度 事業報告

I 法人の概要

(1) 建学の精神

『誠実・勤勉を心がけ、豊かな教養とより深い人間性の育成を目指す』

(2) 教育目標および校訓

【教育目標】

生徒一人ひとりの個性・人格を尊重した学習指導・生徒指導を本校教育の基本とし、人権尊重の精神・ゆたかな心・創造的な知性を持ち、自ら考え自らを律することのできる生き生きとした生徒を育てる。

【校訓】

- ・ 立志　　まず目的を立て、その目的を成し遂げようと決意すること。
- ・ 自立　　他との協調関係の中、他に頼らず独り立ちすること。
- ・ 誠実　　まごころをもって人に接し、事にあたること。
- ・ 勤勉　　事にあたっては、怠惰に流されず、一心にはげむこと。

(3) 設置する学校等

英真学園高等学校　全日制課程　普通科

(4) 設置のコース

1年（令2年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース	
2年（令元年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コースⅠ類	総合進学コースⅡ類
3年（H30年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コースⅠ類	総合進学コースⅡ類

(5) 学費および生徒数等

・学費

受験料	入学金	授業料（年間）
20,000円	200,000円	576,000円

*「大阪府私立高校生等学資支援推進校指定要綱第2条第5号」により大阪府教育庁との協議の結果、平成29年度入学生から月額5,000円、年額60,000円の値上げを認可された。

・募集人員（令和3年度入試）

募集人員	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース
300	50	60	190

・入学者数（令和3年度）

入学者数	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース
251	55	66	130

・在籍者数（令和3年5月1日現在）

学年	在籍計	文理特進	情報進学	総合進学	
1年	253	55	66	132	
		文理特進	情報進学	総合進学Ⅰ類	総合進学Ⅱ類
2年	284	48	64	33	139
3年	295	44	81	37	133
合計	832				

*1年総合進学コース132名には2名の留年生を含む。

(6) 役員の概要 役員の定数等（令和3年4月1日現在）

理事 7名	一号理事	川坂昌裕	常勤（校長）
	二号理事	高村順久	非常勤
		鄭盛旭	非常勤
	三号理事	神子和良	常勤（理事長）*代表権あり
		永島治典	非常勤
	四号理事	小谷忠男	非常勤
		坪田浩行	常勤（常務理事）*代表権あり
監事 2名		大西 暁	非常勤
		中瀬和幸	非常勤

(7) 評議員の概要（令和3年4月1日現在 18名）

一号評議員	教職員から互選された者	4名
二号評議員	卒業生の中から理事会で選任した者	3名
三号評議員	学識経験者から理事会で選任した者	4名
四号評議員	法人の理事	5名
五号評議員	教頭	2名

(8) 教職員の概要 各年度4月1日現在

年度	H29	H30	R1	R2	R3	備考
(管理職)						
校長	1	1	1	1	1	27～29 大目美日古 30～川坂昌裕
副校長						
教頭	1	2	2	2	2	26～29 川坂昌裕 30～吉田進彦・坂原佳京
事務長	1	1	1	1	1	28～坪田浩行
(教育職員)						(令和3年度)
常勤	57	53	50	51	53	教諭(42) 養護教諭(1) 常勤講師(9) 教育相談(1) *校長、教頭を含まない
非常勤	21	19	19	16	18	非常勤講師(15) 外国語実習助手(2) 派遣(1)
(事務職員)						(令和3年度)
常勤	5	5	5	5	4	事務長を含まない
非常勤	3	3	3	3	3	
非常勤用務員	2	2				
教職員計	91	86	81	79	82	

II 教育

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休校・感染防止のための環境づくり・年間行事予定の変更等厳しい状況下の1年であったが、理事長が平成29年3月15日に発信した、目指すべき学園像 1) 個性や違いを認めて支え合う学園、2) 他人を思いやる心豊かな学園、3) 毎日を肯定的に受け止め、創造力豊かな学園 を追及するために、校長以下教職員は、本校の教育目標の理念である『一人ひとりを大切に』に基づき、日々の教育活動に取り組み、成果を上げたと評価できる。

(参考) 校長発信の令和2年年度目標および重点目標

【年度目標】

- ①アジア諸国に興味関心を持つ
- ②情報発信力を高め、協働的問題解決を図る力を養う
- ③アジアの中の日本を考える
- ④主体的・対話的で深い学びの探求

【重点目標】

- ①多様な文化・言語に触れる
- ②みずからの意見を表現・発信する力、意見を聴き理解する力を養う
- ③公共心や規範意識、人権への鋭い感受性と他者を尊重しお互いを高め合う力を養う
- ④学びへの興味と努力し続ける意志を喚起し、指導方法を不断に見直し改善する

(1) 転学・退学者数について

年度	学年	年度当初	年度末	転学	退学	転退率
R02	1年	308	286	16	6	7.1%
	2年	310	295	12	3	4.8%
	3年	256	252	3	1	1.6%

(2) 進路決定者数等について

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
大学・短期大学	145	128	122	125
専門学校等	100	112	57	72
進学者数計	245	240	179	197
就職者数計	41	37	48	40
浪人	7	9	10	5
未決定者	16	13	10	10
進学未決定率	5.2%	4.3%	4.0%	4.0%

III 施設設備

(1) 本館エアコン改修工事

本館完成後20年以上にわたり、本館のエアコンは小さな修理を繰り返しながら使用してきた。しかし、一般的な使用の有効期限が限界を超え、いつ稼働不能に陥っても不思議でない状況になっていた。

よって、令和元年9月27日の理事会において、減価償却引当特定資産を取り崩してでも本館エアコンの改修工事を行うことが承認された。

この決議を受け、令和2年度の国庫補助対象事業として改修工事を実施した。

総工事費 ￥104,500,000 (内￥12,700,000 は国庫補助)

(2) 校内 LAN 整備工事

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休校があり、年間予定の授業に少なからず支障が出たが、教員の積極的な教育活動により概ね目的を達することができた。

ただ今後、今回のような状況が継続する場合、また非常時の対応策として、校内 LAN の整備が必要となった。

よって、当初予算では予算化されていなかったが、補正予算で事業費を計上し、リモート授業等にも対応できる教育環境を整備するために、校内 LAN の整備工事を実施した。

工事費 ¥25,388,110 (内¥9,785,000 は国庫補助)

(3) その他

<本館関係>

- ・本館、北館 防火設備是正箇所改修工事
- ・西門 門扉修繕工事
- ・下足室 ロッカー転倒防止工事

<北館関係>

- ・屋上防水部分補修工事
- ・第 1 体育館天井補修工事
- ・体育室 空調機取替工事

<南館関係>

- ・屋上防水部分補修工事
- ・屋上防水部分補修工事
- ・壁面漏水補修工事
- ・高架水槽塗装修繕工事
- ・調理室 流し台カラン取替工事
- ・高架水槽塗装修繕工事
- ・高架水槽塗装修繕工事

<教科関係>

- ・iPad 導入・80 台

IV 財務の概要

(%)

	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度
教育活動収支差額比率	△ 0.2	△ 3.3	1.6	4.3	11.0
経常収支差額比率	△ 0.1	△ 3.3	1.7	4.3	11.0
事業活動収支差額比率	△ 0.1	△ 3.3	1.6	4.3	14.5
学生生徒等納付金比率	45.1	46.5	46.8	46.5	50.7
寄付金比率	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2
補助金比率	52.4	51.0	50.2	50.6	45.0
人件費比率	76.1	76.9	71.4	69.9	65.8
教育研究経費比率	19.3	21.4	22.4	21.2	18.1
管理経費比率	4.7	5.3	4.5	4.6	5.9
借入金等利息比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
基本金組入率	3.4	0.0	2.2	0.0	0.0
減価償却額比率	6.0	6.4	6.6	6.7	6.8
人件費依存率	168.5	165.3	152.6	150.3	129.7
基本金組入後収支比率	103.4	103.3	100.6	95.7	85.5